

日本熱帯農業学会第 140 回講演会 公開シンポジウム

低温プラズマ技術の活用による熱帯作物生産と食料システムのレジリエンス強化

日 時：2026 年 10 月 25 日（日） 9:30～12:00

会 場：名古屋大学 EI 創発工学館 FUJI ホール

主 催：日本熱帯農業学会

共 催：日本作物学会、サゴヤシ学会、

名古屋大学農学国際教育研究センター、同大学低温プラズマ科学研究センター、

同大学大学院生命農学研究科、

地球レジリエンス強化に向けた低温プラズマ学と遺伝学のフロンティア学際ハブ、

科研学術変革領域研究(A)プラズマ駆動種子記憶操作：プラズマが駆動する種子内分子動態の学理創成、

JST-SPRING 東海国立大学機構メイクニュースタンダード アジア・環太平洋未来創造分野、

東海バイオコミュニティ・プラズマ農業技術研究会

参加費：無料

モデレーター：

江原 宏（名古屋大学大学院生命農学研究科／農学国際教育研究センター）

新田洋司（福島大学食農学類）

講演者：

1. 石川健治（名古屋大学低温プラズマ科学研究センター）
「プラズマ駆動による生物の環境応答現象」
2. 梅根一夫（基礎生物学研究所大学連携バイオバックアッププロジェクトセンター）
「低温プラズマによる植物トランスポソンのエピジェネティック制御の可能性
—IBBP の生物資源バックアップと熱帯農業への展望—」
3. 石橋勇志（九州大学農学研究院）
「プラズマ照射による作物種子のエピゲノム変動様式と成長制御」
4. 松田大志（国際農林水産業研究センター・熱帯・島嶼研究拠点）
「熱帯果樹の生産現場における低温プラズマ照射技術活用の可能性と国際貢献の展望」

名古屋大学東山キャンパス 会場案内図

・EI 創発工学館 FUJI ホール（公開シンポジウム）⑤

